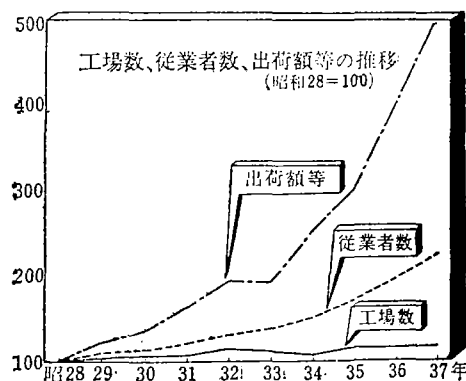


39. 工場数, 従業者数, 製造品出荷額等

製造業は従来まで非常に立おくれ, 対岸の神奈川県ならびに隣接の東京都に比較ができぬほどの差があり, 小規模で家内工業的な食料品工業が中心をなしていた。

昭和30年の従業者規模による工場数は3人以下が半数以上の56%を占めていた。しかしようやく臨海工業地帯と内陸工業地帯の整備拡充につれて下表のとおり工場も大規模化の傾向がみられるようになった。一方従業者数も昭和30年は69千人であったが37年には138千人となり急激に増加している。

また出荷額は37年で3,221億に達し重化学工業の比重が強く従来の軽工業から脱皮しつつある。



各年12月31日現在

年	工場数				従業者数	製造品出荷額等
	計	従業者 1~49人	従業者 50~99人	従業者 100~人		
昭和20年末1)	950	30 290	2) 616
21 1)	1 435	41 393	2) 940
22 1)	2 070	45 968	2) 3 526
23	3 735	46 087	2) 9 900
24	4 753	46 110	16 775
25	6 396	51 181	24 561
26	6 656	52 473	41 060
27	6 507	56 124	48 878
28	6 348	60 868	64 472
29	6 632	6 508	71	53	64 446	79 126
30	6 857	6 724	75	58	68 627	88 328
31	6 797	6 636	94	67	73 792	104 080
32	7 281	7 109	99	73	80 882	125 870
33	7 102	6 918	107	77	83 274	124 736
34	6 916	6 711	108	97	92 687	164 422
35	7 382	7 137	131	114	104 664	210 124
36	7 275	6 960	170	145	119 609	274 001
37	7 339	6 937	219	183	137 906	322 144

統計課調 注) 1) は職工5人以上の工場。2) は生産額。